

平成18年3月24日
金融広報中央委員会

平成18年度活動方針

1. 17年度活動を振り返って

- 金融広報中央委員会では、近年の金融商品・サービスの多様化、金融トラブルの増加とその若年層への広がり等の環境を踏まえて、平成17年度を「金融教育元年」と位置付け、積極的な活動を展開した。とくに、学校における金融教育の実践に関しては、従来の施策に加え、以下のような新規事業の実施を含め一段と踏み込んだ取り組みを行った。

<主な活動実績>

- ① 金融教育フェスティバルの開催
——大規模シンポジウム、教員向けセミナー、親子向け学びの広場など、金融を楽しく学べる複合イベントを開催。
 - ② 金融教育公開授業の全国リレー開催
——学校における金融教育の実践を通じて、生徒・教員はもとより保護者や地域の方々にもその必要性を広く理解してもらうため、全国21ヶ所で開催。
 - ③ 金融教育プログラムの検討作業
——教育関係者や関係官庁と協力して、学校における金融教育普及に向けた実践的プログラムの策定作業に着手（作業は継続中）。
 - ④ 「子どものくらしとお金に関する調査」の実施
——金融教育を効果的に支援するため、全国の児童・生徒約9万人を対象にお金やくらしに関する意識調査を実施（結果の公表は18年度）。
- 「金融教育元年」をテーマとした当委員会のこうした取り組みは、金融教育に対する教育関係者の理解を深め、活動の輪を広げることに寄与したほか、メディアを通じて広く紹介されたこともあって、幅広い層の方々に金融教育に関心を持ってもらう契機になったものと思われる。

2. 18年度の活動方針

- 的確な金融経済情報の提供に対する社会的ニーズの高まりや学校における金融教育への関心の強まりなどを背景に、当委員会活動に対する期待は引続き大きい。こうした認識に立って、当委員会としては、17年度に「金融教育元年」事業として培った実績をひとつの手掛かりとして、金融教育を更に浸透・定着させていくことを目標に、「みんなでつくる金融教育」を次のテーマとして活動に取り組んでいくこととする。
- こうした基本スタンスの下、当面18年度については、過去2年間に互って立ち上げてきた各種新規事業も含め従来の主要事業を継続するとともに、次の活動ステージづくりに向けた「基盤の整備・拡充」に取り組む1年と位置付け、以下の重点施策を掲げて活動を推進することとする。

<重点施策>

①学校教育分野での基盤拡充

- 「金融教育プログラム」の作成とその普及に向けた施策の検討
- 金融教育関係事業の継続と工夫
- 金融教育支援部署の機能充実

②学校向け・市民向け両面でのネットワーク力の強化

- 委員・関係団体、関係官庁、地方委員会等との事業を通じた連携の強化。
- 教育関係者との連携・情報交換機能の拡充。
- 各種メディアとの情報共有・交流の促進。

③ 情報発信機能の拡充

- ホームページ・リニューアルを契機としたユーザビリティの向上。
- 新規コンテンツの掲載、委員会事業や各種情報の積極的発信。

以 上

(別紙1)

18年度の重点活動内容

(教育関係向け金融教育・広報活動)

事業	主な内容
金融教育プログラムの策定と活用	学校における金融教育実践推進に向け、「金融教育」に関する体系的プログラムの策定と学校での活用促進
学校向け資料・教材等の整備	「金融教育プログラム」に関連する学校・保護者向け資料・教材類の整備など
金融教育公開授業の各地開催等	児童・生徒、教育関係者のほか保護者、地域の方々に「金融教育」実践の重要性等について広く理解を得る場として17年度に続き開催
金融教育フェスティバルの開催	教育関係者をはじめ広く各層に対し、当委員会の目指す「金融教育」を正しく、分り易く伝え、その重要性についての理解を得るイベントとして17年度に続き開催。
作文等コンクールの実施	中学・高校生、教職員向け「作文・小論文」コンクールを継続実施
学校・教員向けサポート策の点検・整備	研究校制度等現行の学校・教員向けサポート策を点検、適宜充実を図るなど、教育関係インフラを整備

(一般生活者向け金融教育・広報活動等)

事業	主な内容
全国キャラバン金融講座	計画的なマネプラン策定とニーズに合った金融商品選択の重要性をテーマに、全国で開催
全国金融経済講演会	各地委員会の開催ニーズに合わせ、幅広い分野の講師を派遣
講座講習会等の開催	生活に身近な金融分野をテーマに講座・講習会等を開催(連続講座、テーマ別講座等)
金融学習特別推進地区の発掘	金融教育・広報活動の効果的な展開に向け、引続き地域を単位とする学習活動をサポート
通信講座	16、17年度受講対象枠(5000名)により継続実施
ホームページを通じた金融経済情報、委員会活動の積極的発信	リニューアルを契機にホームページのユーザビリティ向上を図るほか、新規コンテンツ、生活に身近な金融経済情報、委員会活動等の積極的な発信に取組み
家計の金融資産に関する世論調査	家計の金融資産保有状況、金融環境に関する認識等に関するアンケート調査を継続実施

(別紙2)

活動力強化への取組み

(ネットワーク強化関連)

取組事項	主 な 内 容
教育関係者との関係強化	文科省・教育専門家・教員との日常の交流、学校・教育委員会等への訪問などを通じ教育関係者との関係を強化。金融教育推進に向けた課題の把握や対応策の検討等を実施
関係官庁・団体との連携の強化	関係先との連携を一層強め、金融教育・広報についての活動力を強化。「金融教育プログラム」策定作業や講師相互派遣等の事業・活動を通じた具体的な連携を推進
メディアとの交流の促進	重要な広報ツールであるメディアとの交流を深め、当委員会活動の理解促進、各発信内容の補足などに努め、金融教育・広報活動を効果的に展開
各地委員会との連携の緊密化	事務局ネット等を通じた情報共有、事業の共催、事務局ホームページ資料の整備、アドバイザー向けコンテンツの充実等各地委員会のニーズに即した協力・サポートを行い、委員会全体の活動力を強化

(効果的な活動に向けた検討作業等)

取組事項	主 な 内 容
活動対象層拡大に向けた企画面の充実	全国キャラバン、講演会等委員会活動への参加者層の拡大に向け、企画内容を工夫
金融学習特別推進地区制度の点検	現行の金融学習特別推進地区制度を点検、学校を中心とする金融学習コミュニティを視野に入れた制度内容の見直しも検討
既往発信ツールの点検等	当委員会の情報提供の内容・分野を長期的な視点から点検するとともに、その内容・対象層を踏まえ、HP、刊行物等情報提供手段を点検し必要に応じて見直し
刊行物・教材等の体系的整理	金融教育プログラム(18年度策定予定)等をベースに当委員会作成の教材等を点検・整理の上、今後のコンテンツ作成の方向性等について検討